

## 平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月6日

上場会社名 新京成電鉄株式会社

コード番号 9014 URL <http://www.shinkeisei.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 片岡 遼一

問合せ先責任者 (役職名) 財務戦略部主計資金担当兼グループ会計担当課長 (氏名) 内藤 智喜

TEL 047-389-1124

四半期報告書提出予定日 平成21年8月12日

配当支払開始予定日 —

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	5,024	△4.6	966	6.4	885	4.7	521	4.6
21年3月期第1四半期	5,265	—	908	—	845	—	498	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	9.48	—
21年3月期第1四半期	9.06	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	62,162	23,075	37.1	419.48
21年3月期	62,587	22,441	35.9	407.93

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 23,075百万円 21年3月期 22,441百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
22年3月期	—				
22年3月期(予想)		2.50	—	2.50	5.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	10,167	△1.0	1,454	△4.8	1,274	△7.9	742	0.5	13.49
通期	20,154	△0.1	2,389	2.3	2,161	△2.6	1,344	△1.4	24.44

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 55,116,142株 21年3月期 55,116,142株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 105,596株 21年3月期 103,701株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第1四半期 55,011,365株 21年3月期第1四半期 55,032,919株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費が低迷するとともに民間設備投資の減少や雇用情勢の急速な悪化など、景気は依然として低調なまま推移いたしました。

このような状況のもとで、当社グループ（当社、連結子会社及び持分法適用会社）は、安全管理体制のさらなる充実、コンプライアンス及びリスク管理の徹底に注力しつつ、引き続き全事業において積極的な営業活動を展開するとともに経営基盤の強化並びに効率化に努めました。さらにお客様第一主義による「BMK（ベストマナー向上）推進運動」に継続して取り組み、より良質なサービスを提供すべく精励しております。

その結果、営業収益は5,024百万円（前年同期比4.6%減 241百万円）、営業利益は966百万円（前年同期比6.4%増 58百万円）、経常利益は885百万円（前年同期比4.7%増 40百万円）、四半期純利益は521百万円（前年同期比4.6%増 22百万円）となりました。

これを事業の種類別セグメントごとに示すと次のとおりであります。

#### 運輸業

鉄道事業では、旅客サービスにかかる一層の向上策といたしまして、車両1編成に自動放送装置を設置いたしましたのはじめ、さらなる接客サービスの向上を図るため、引き続き外部講師による駅係員の接客向上研修を実施いたしましたほか、乗務員の案内放送研修を行いました。

安全輸送確保の取り組みといたしましては、踏切遮断機更新工事を8箇所13基、閉塞信号設備耐雷化工事を10基行いました。

鎌ヶ谷市内の連続立体交差工事につきましては、引き続き完成に向けて工事をすすめております。

営業面につきましては、旅客誘致並びに増収対策として「新京成沿線健康ハイキング」及び「松戸へ行こう！トクトクキャンペーン」スタンプラリーを実施いたしましたのはじめ、ハイキングコースを掲載したパンフレットの配布やディズニーリゾート他行楽施設の前売券の発売、沿線催事等を紹介するポスターの掲出などを行いました。

バス事業の一般乗合輸送につきましては、高齢者や車椅子を使用されるお客様に配慮し、大型ワンステップバス3両を代替いたしました。

旅客サービスにかかる一層の向上策につきましては、松戸新京成バス株式会社の小金原団地線において利便性の向上及び効率的な輸送を図るためダイヤ改正を実施いたしましたほか、さらなる接客サービスの向上を図るため、引き続き外部講師による研修を実施いたしました。

営業面につきましては、旅客誘致並びに増収に向けた継続施策として、幅広い年齢層の利用を促進するため新京成グループバス3社共通または京成グループバスの各社も利用可能な特殊割引定期券を各種発売しましたほか、船橋新京成バス株式会社及び習志野新京成バス株式会社においては近距離需要を喚起すべく、引き続き「100円（ワンコイン）運賃」を実施いたしました。

特定輸送につきましては、船橋新京成バス株式会社が新たに企業の従業員輸送を受注し、安定収入の確保に努めました。

以上の結果、営業収益は4,015百万円（前年同期比1.8%減 74百万円）、営業利益は568百万円（前年同期比25.4%増 115百万円）となりました。

#### 不動産業

不動産賃貸業では、空室へのテナント誘致を積極的に行い物件稼働率の向上に努めました。

また、津田沼12番街ビルの空調熱源機整備工事など賃貸施設の保全工事を行いました。

以上の結果、営業収益は社有地の売却が減少いたしましたこともあり789百万円（前年同期比15.8%減 147百万円）、営業利益は386百万円（前年同期比12.3%減 54百万円）となりました。

#### その他の事業

駅売店業につきましては、新聞・雑誌などの販売の減少傾向が継続しており、厳しい経営環境の中での営業活動となりました。

以上の結果、営業収益は252百万円（前年同期比7.6%減 20百万円）、営業利益は3百万円（前年同期比48.3%減 3百万円）となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、建設仮勘定、投資有価証券の増加等がありましたものの、減価償却による減少等により前連結会計年度末に比べ425百万円（前期比0.7%減）減少し、62,162百万円となりました。

負債は、前受金、長期借入金の増加等がありましたものの、未払金、買掛金の減少等により、前連結会計年度末に比べ1,060百万円（前期比2.6%減）減少し、39,086百万円となりました。

純資産は、利益剰余金、その他有価証券評価差額金の増加等により前連結会計年度末に比べ634百万円（前期比2.8%増）増加し、23,075百万円となりました。

### キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、短期借入金の増加や長期借入れによる収入の増加等があったものの、有形固定資産の取得による支出の増加等があったことにより、前第1四半期連結会計期間末に比べ529百万円（前年同期比 15.7%減）減少し、当第1四半期連結会計期間末は2,849百万円となりました。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は1,501百万円（前年同期比 17.7%減）となりました。

これは主に税金等調整前四半期純利益885百万円及び減価償却費820百万円が計上されたこと等によるものであります。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は2,650百万円（前年同期比 52.7%増）となりました。

これは主に工事負担金等受入による収入が1,684百万円あったものの、有形固定資産の取得による支出が4,306百万円と大きかったこと等によるものであります。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は1,214百万円（前年同期比 120.4%増）となりました。

これは主に長期借入金の返済による支出が869百万円あったものの、長期借入れによる収入が1,800百万円及び短期借入金の増加が400百万円あったこと等によるものであります。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

第1四半期の業績は概ね順調に推移しており、平成21年5月11日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はございません。

## 4. その他

### （1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

### （2）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 簡便な会計処理

#### 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

### （3）四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,849,372	2,783,947
売掛金	778,545	842,225
商品及び製品	39,590	41,990
分譲土地建物	2,984,241	2,984,241
原材料及び貯蔵品	219,681	198,455
繰延税金資産	467,726	320,984
その他	120,166	467,620
流動資産合計	7,459,325	7,639,464
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	22,048,534	22,355,738
機械装置及び運搬具（純額）	5,238,778	5,492,363
土地	9,508,628	9,508,628
建設仮勘定	11,667,855	11,335,565
その他（純額）	1,379,157	1,509,718
有形固定資産合計	49,842,955	50,202,014
無形固定資産		
その他	379,923	407,696
無形固定資産合計	379,923	407,696
投資その他の資産		
投資有価証券	3,914,964	3,595,706
繰延税金資産	140,954	272,510
その他	423,898	470,221
投資その他の資産合計	4,479,817	4,338,437
固定資産合計	54,702,696	54,948,149
資産合計	62,162,021	62,587,613
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	519,903	1,167,293
短期借入金	5,078,970	4,667,670
未払金	252,705	4,390,828
未払法人税等	567,844	508,613
前受金	10,309,316	8,633,877
賞与引当金	829,938	491,663
役員賞与引当金	4,800	22,100
その他	2,396,108	1,973,623
流動負債合計	19,959,587	21,855,669

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>固定負債</b>		
長期借入金	14,032,085	13,112,835
退職給付引当金	2,410,289	2,446,457
その他	2,684,300	2,731,299
<b>固定負債合計</b>	<b>19,126,674</b>	<b>18,290,593</b>
負債合計	39,086,262	40,146,263
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	5,935,940	5,935,940
資本剰余金	4,774,574	4,774,574
利益剰余金	11,184,499	10,800,452
自己株式	△40,213	△39,579
<b>株主資本合計</b>	<b>21,854,800</b>	<b>21,471,387</b>
<b>評価・換算差額等</b>		
<b>その他有価証券評価差額金</b>	<b>1,220,958</b>	<b>969,962</b>
<b>評価・換算差額等合計</b>	<b>1,220,958</b>	<b>969,962</b>
<b>純資産合計</b>	<b>23,075,759</b>	<b>22,441,350</b>
負債純資産合計	62,162,021	62,587,613

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業収益	5,265,610	5,024,079
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	4,038,965	3,741,168
販売費及び一般管理費	318,037	316,229
営業費合計	4,357,002	4,057,398
営業利益	908,608	966,681
営業外収益		
受取利息	172	115
受取配当金	37,616	35,591
その他	14,397	9,756
営業外収益合計	52,186	45,463
営業外費用		
支払利息	105,713	103,004
持分法による投資損失	8,753	17,545
その他	741	5,887
営業外費用合計	115,208	126,437
経常利益	845,586	885,706
税金等調整前四半期純利益	845,586	885,706
法人税、住民税及び事業税	563,731	513,013
法人税等調整額	△216,751	△148,884
法人税等合計	346,979	364,128
四半期純利益	498,607	521,578

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	845,586	885,706
減価償却費	803,215	820,431
持分法による投資損益 (△は益)	8,753	17,545
賞与引当金の増減額 (△は減少)	350,506	338,274
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△20,275	△17,300
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	49,746	△36,168
受取利息及び受取配当金	△37,788	△35,706
支払利息	105,713	103,004
固定資産除却損	1,810	620
売上債権の増減額 (△は増加)	114,796	96,922
たな卸資産の増減額 (△は増加)	133,715	△21,326
未収消費税等の増減額 (△は増加)	—	46,273
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△38,006	18,045
前払年金費用の増減額 (△は増加)	34,196	43,299
仕入債務の増減額 (△は減少)	△239,134	△602,410
未払消費税等の増減額 (△は減少)	79,216	167,784
預り敷金及び保証金の増減額 (△は減少)	△3,726	△4,363
その他	74,303	178,339
小計	2,262,628	1,998,971
利息及び配当金の受取額	51,716	56,597
利息の支払額	△114,956	△110,352
法人税等の支払額	△374,730	△443,661
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,824,658	1,501,554
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△3,207,516	△4,306,392
有形固定資産の売却による収入	—	1,688
無形固定資産の取得による支出	△2,489	△58,284
投資有価証券の売却による収入	—	27,445
工事負担金等受入による収入	1,472,477	1,684,979
その他	2,273	△15
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,735,254	△2,650,579

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	—	400,000
長期借入れによる収入	1,500,000	1,800,000
長期借入金の返済による支出	△833,550	△869,450
自己株式の取得による支出	△1,231	△634
自己株式の売却による収入	187	—
配当金の支払額	△114,318	△115,351
その他	—	△113
財務活動によるキャッシュ・フロー	551,087	1,214,449
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	640,491	65,425
現金及び現金同等物の期首残高	2,738,643	2,783,947
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,379,134	2,849,372

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)

	運輸業 (千円)	不動産業 (千円)	その他の事 業 (千円)	計 (千円)	消去又は全 社 (千円)	連結 (千円)
営業収益						
(1) 外部顧客に対する営業収 益	4,089,173	924,130	252,306	5,265,610	—	5,265,610
(2) セグメント間の内部営業 収益又は振替高	144	13,395	20,913	34,452	(34,452)	—
計	4,089,317	937,525	273,220	5,300,063	(34,452)	5,265,610
営業利益	453,477	440,792	6,616	900,886	(△7,721)	908,608

当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)

	運輸業 (千円)	不動産業 (千円)	その他の事 業 (千円)	計 (千円)	消去又は全 社 (千円)	連結 (千円)
営業収益						
(1) 外部顧客に対する営業収 益	4,015,074	777,138	231,866	5,024,079	—	5,024,079
(2) セグメント間の内部営業 収益又は振替高	135	12,723	20,677	33,536	(33,536)	—
計	4,015,209	789,862	252,544	5,057,616	(33,536)	5,024,079
営業利益	568,859	386,489	3,423	958,772	(△7,908)	966,681

[所在地別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日) 及び当第1四半期連結累計期間  
(自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日) 及び当第1四半期連結累計期間  
(自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)

海外売上高がないため該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。